

あがりかまち用 たちあっぷ®

FitOne®

フィットワン

取扱説明書

品番

CKP-01

！安全に関する表示 2

1. 使用上のご注意 2

2. ご使用方法 3

3. 設置上のご注意 4

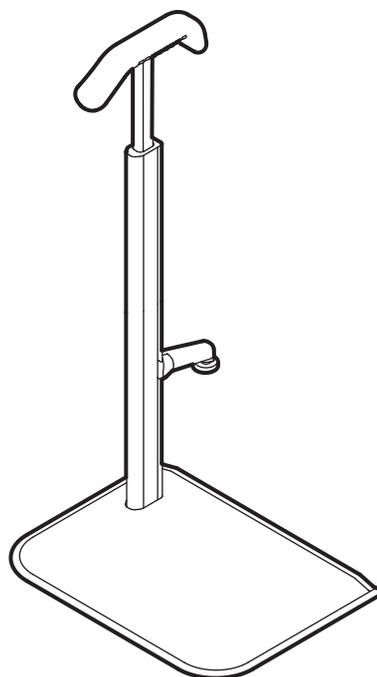
4. 構成部品 4

5. 各種部品表 5

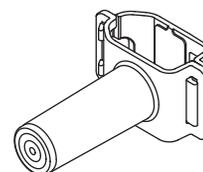
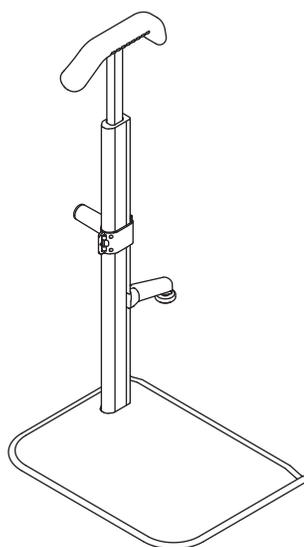
6. 組立手順 6

7. ご使用前の確認 10

8. お手入れ方法 11



CKP-01



オプション部品

壁当て
CKP-CE SET

お買い上げありがとうございます

販売店様

この説明書は必ずお客様に説明してからお渡しください。

ご利用者様

ご使用前にこの説明書を必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. 使用上のご注意

 警告	
 禁止	<p>● 手すり以外の用途で使わない。 本製品は、あがりかまちなどの段差の上り下りを補助する屋内用手すりです。</p>
	<p>● ベースに乗っていない状態で必要以上に水平方向に力を加えない。 手すりに力をかけた際に、ベースが持ち上がり転倒事故やケガの原因になります。手すりを持ち、床面に向かって押さえつける方向に力をかけてください。</p> 
	<p>● 手すり引抜き方向に力を加えない。</p> 
	<p>● 使用の際は手すりを手前に引っ張らない。</p> 
	<p>● 子供を遊ばせるなど遊具として使わない。 事故のおそれがあります。手すりにぶら下がったり、手すりの上に乗ったりしないでください。</p>
	<p>● 車いすからの立ち上がりには使わない。 移乗の際に転倒するおそれがあります。</p>
	<p>● 濡れた手、脚、靴底で使わない。 滑って転倒するおそれがあります。</p>
	<p>● ベースやマット、手すりフレームが濡れた状態で使わない。 滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。特にベースに敷いてあるマットは濡れると滑りやすくなり危険です。マットが濡れた場合は、マットの表面・裏面ともに布などで拭いてからご使用ください。</p>
	<p>● 予測できない行動をとる・自力で危険な状態から回避することができない利用者は使わない。 利用者の心身の状態や利用環境により、手すりフレームと壁のすき間に身体の一部を入れる可能性があり、場合によっては生命に関わる重大事故につながるおそれがあります。予測できない行動をとられる利用者（認知症など）や、自力で危険な状態から回避することができない利用者（認知症など）につきましては、ご使用を控えてください。</p> <p>※狭い玄関でも使用できるように弊社の「あがりかまち用たちあっぷ（CKE、CKGシリーズ）」よりベースが小さく、軽量になっています。十分なモニタリング、フィッティングを行った上でご使用ください。</p>

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用に際しては、利用者の身体の状態により介護者が付き添うなど、安全には十分な配慮をする。お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談することをお勧めします。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 固定式でないため設置後の安定性、利用者の状況を確認の上、使用する。「フィットワン」の安定性を向上させるオプション品「壁当て」のご使用をお勧めします。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者の健康状態や体調が変化した場合は直ちに使用を中止する。ご使用を再開される場合は医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ● あがりかまちの設置高さは 20 ～ 200 mm の範囲内で使用する。対応範囲外の高さで使用すると、事故のおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用の際は介護者が利用者の状態（安全に使用できる状態にあるか）を確認する。利用者の健康状態や体調が変化した場合には、お買い上げの販売店または医師や介護士、ケアマネジャーなど専門家に相談してください。ご使用の際は介護者が付き添って使用することをお勧めします。ご使用に合わない場合は直ちにご使用をおやめください。

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 2人以上同時に使用しない。本製品は1人用です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者体重が 80kg を超える場合は使用しない。使用中に破損するおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● ベースの縁ゴムには厚みがあるため、すり足など使用上支障のある方は注意する。
	<ul style="list-style-type: none"> ● ベースは必ずマットを貼り付けた状態で使用する。使用中にマットがめくれたり、たるみがあった場合は整ってから使用する。マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。また、マットにめくれたりたるみがあるとつまずいて転倒するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、ベースもしくは支柱下部を持って移動させる。手すりを持ち上げるとねじのゆるみなどでベースが落下し、ケガをするおそれがあります。ベースの縁ゴム部分もはめ込み式のため、縁ゴムのみを持たないでください。また、引きずると床面を傷つけたり、縁ゴムの外れや破損のおそれがあります。
	
	<ul style="list-style-type: none"> ● はめ込み式の縁ゴムを引っ張ったり、ベースを引きずったりすると外れる可能性があるため注意する。構造上ゴムに動きがある場合がありますが、性能（安定性等）に影響するものではありません。縁ゴムが外れた場合は、縁ゴムを手で押し込んで取り付けてください。
<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。（例：手すりにガタつきがある・部品が外れる）正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。 	

2. ご使用方法

⚠ 注意

 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 手すりに上から荷重をかけるように使用する。
---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------

- 手すりを持って、かまちを昇降してください。



3. 設置上のご注意

警告

 禁止	●弊社製品と他社製品を組み合わせない。 破損やケガの原因になります。また、他社製品と組み合わせた製作物の安全は保証できません。
	●改造・加工は絶対に行わない。 事故の原因になります。
 必ず守る	●設置後、ガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。 取り付けが不安定な状態で使用すると破損や事故、ケガの原因になります。

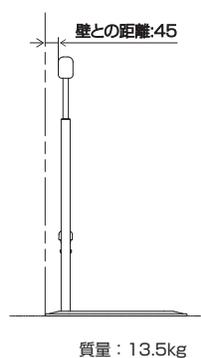
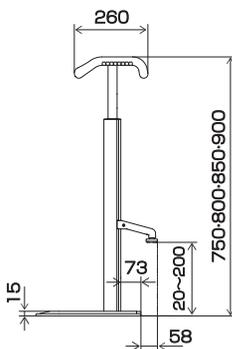
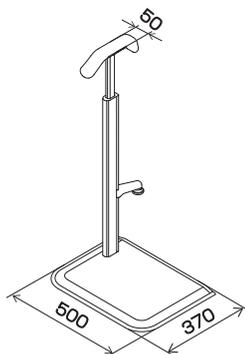
注意

 禁止	●指定締め付けトルク値以上で締め付けない。 破損するおそれがあります。(「6. 組立手順」で示すトルク値に従って締め付けてください。)	
	●電動工具(電動ドライバー等)を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。(ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)	
	●屋外や直射日光の当たる場所では使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。	
	●火のそば・熱器具(ストーブ等)の近くでは使用しない。 金属部分が熱くなり火傷の原因になります。変質・軟化・変形または破損するおそれがあります。	
	●雨風にさらされる場所では使用しない。 変質や破損するおそれがあります。	
 必ず守る	●屋内玄関で使用する。	●組み立て、高さ調整などの設置は納入業者が行う。
	●平らで水平な場所で使用する。	●ベースは重いので注意する。
	●設置の際は設置面の砂やホコリを取り除いた状態で行う。	
	●クッションフロア材(塩化ビニル製)などの上に長時間設置するとクッションフロア材にへこみや色移りする場合があるので注意する。	
	●定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないことを確認する。	

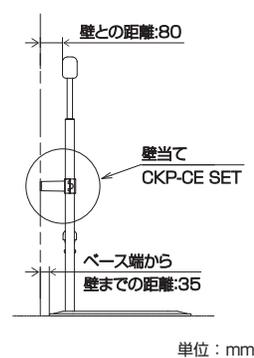
4. 構成部品

※部品が揃っていない、または破損している場合は直ちにお買い上げの販売店へご連絡ください。

□ CKP-01

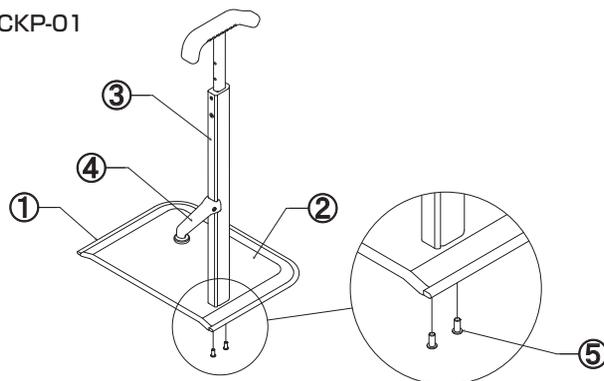


【壁当てありの場合】



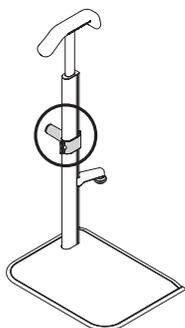
5. 各種部品表

CKP-01



番号	名称	材質	部品図
①	ベース板	ベース板：ステンレス スチール(塗装) 縁ゴム：樹脂・アルミ シール：樹脂	
②	ベースマット	樹脂(マグネット付)	
③	手すり	支柱：アルミ 手すり部：ウレタン キャップ：樹脂	
④	床当て 六角ねじ (M5 × 32)	本体：アルミ アジャスター：(本体) スチール (底部) エラストマー ねじ：ステンレス	
⑤	低頭ねじ (M8 × 25)	ステンレス	
—	六角レンチ 対辺 4mm	スチール	

オプション品のご案内



名称	材質	説明	図
フィットワン 壁当て	樹脂	「フィットワン」を壁で支え、安定性を向上させることができます。	

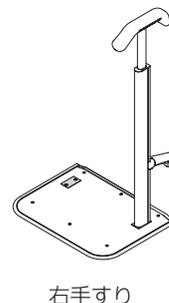
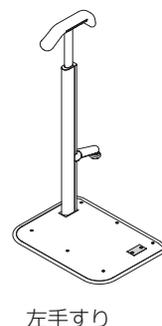
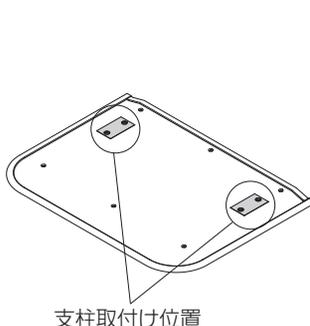
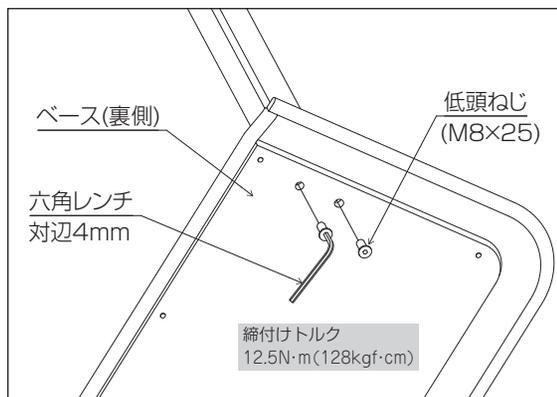
◇オプション品の詳細はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

6. 組立手順

※組み立て、高さ調整は納入業者が行ってください。

6-1. ベースと支柱の取付け

支柱の取付位置を確認し、ベースの裏側から低頭ねじ 2 本で支柱を固定します。
(支柱を左右どちらに取り付けるか決めてください。)



⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 支柱は必ずベースの指定の位置に指定のねじで固定する。 他の位置には取り付けないでください。 ● ねじはねじ穴に対してまっすぐ締め付ける。 無理に締め付けるとねじ山の破損の原因になります。

6-2. 手すりフレームの高さ調整

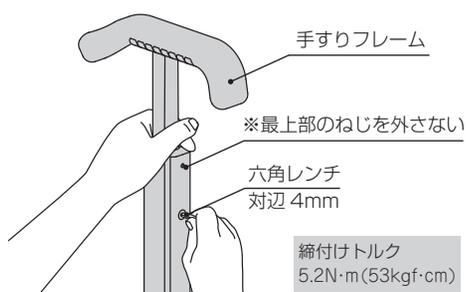
手すりフレームの高さは 750mm・800mm・850mm・900mm の 4 段階に設定ができます。

①支柱裏側の上から 2 番目の六角皿ねじを六角レンチ（対辺 4mm）で取り外します。

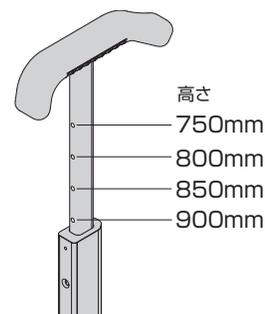
※ねじが外れると手すりが下がってきますので、手すりフレームを持ちながら取外しを行ってください。

※支柱最上部のねじは外さないでください。

②手すりフレームを希望の高さに調整し、手すりフレームの穴を支柱穴に合わせ、六角皿ねじを締め付けます。



<h3>⚠ 警告</h3>	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● ねじの締め付け、取外しの際は手すりフレームを持ちながら行う。 支柱上部が落下し、手・指をはさみケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 電動工具（電動ドライバー等）を使用しない。 過剰トルクで締め付けるとねじの破損の原因になります。 (ねじの締め付け摩擦熱により焼き付けが発生し、締め付け・取外しができなくなる可能性があります。)
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ● 六角皿ねじのねじ頭が支柱面から出てないことを確認する。 ケガの原因になります。

6-3. マットの取付け

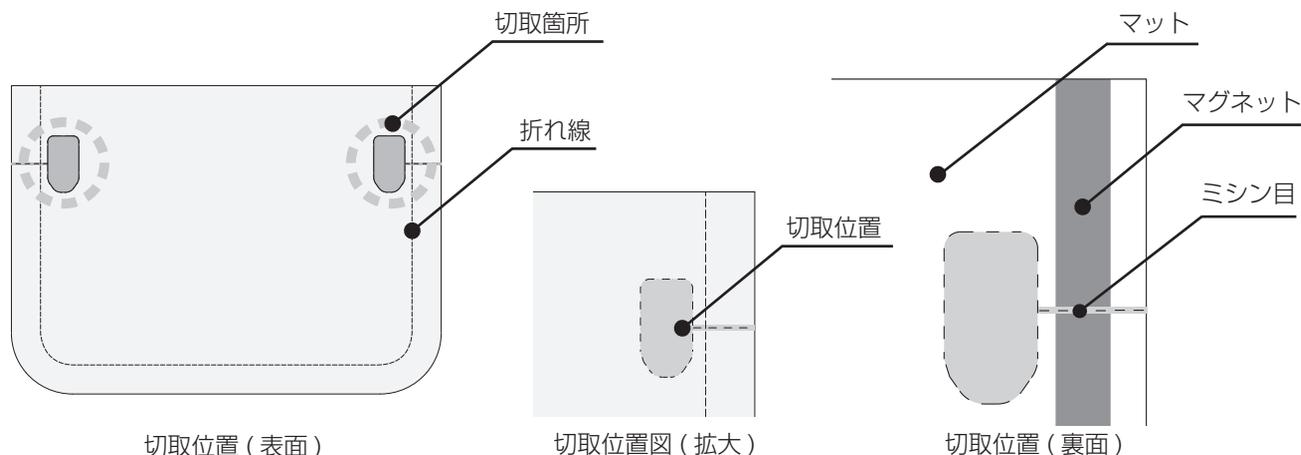
支柱を取り付けた位置に合わせてマットをカットします。

下記の「切取位置図」で切取位置を確認し、ミシン目に沿ってカッターで切り取り、穴を開けます。

※ベースマットに折れ線が入っていますので、ベースに取り付ける前にベースマットの折れ線に合わせて折り、軽くクセをつけておくと取り付けやすくなります。

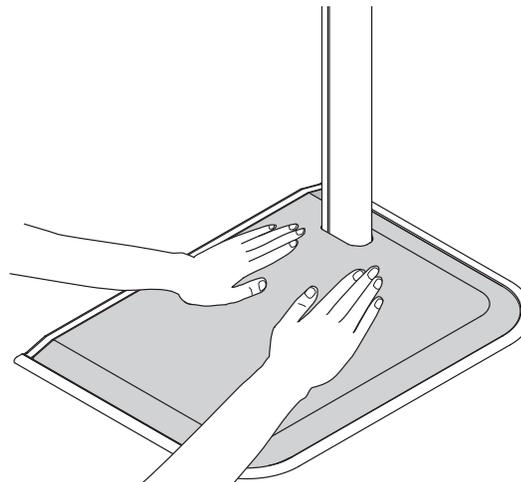
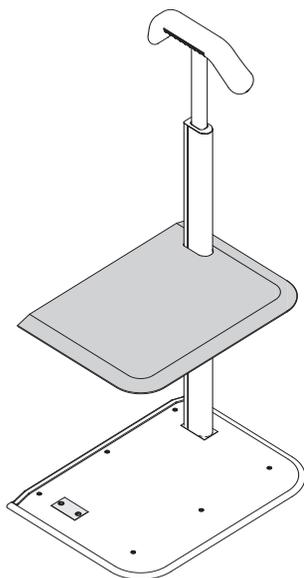
切取作業を行う際に床を傷つけることのないように、マットの下にカッティングボードなどを敷いておくことをお勧めします。

①支柱を取り付けた側の1箇所をミシン目に沿ってカットしてください。



②切取箇所とスタンドの位置が合うようにマットをかぶせてください。

③マットにシワができないように手で軽く押さえながら貼ってください。

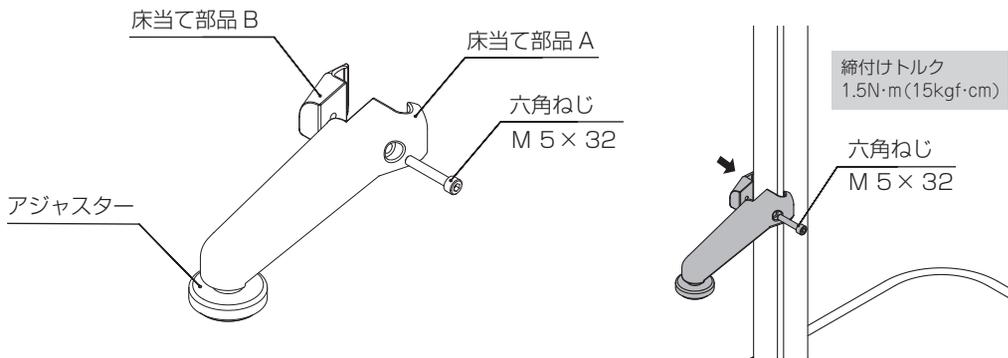


⚠ 注意

 禁止	<p>●フィットワンのベースに貼り付ける以外の用途では使用しない。</p>
	<p>●マットに重いものや跡が付くもの、傷をつけるような鋭利なものを載せない。 <small>跡が付いたり破れるおそれがあります。</small></p>
 必ず守る	<p>●ベースは必ずマットを貼り付けた状態で使用する。使用中にマットがめくれたり、たるみがあった場合は整ってから使用する。 <small>マットを使用しないと滑って転倒するおそれがあります。また、マットにめくれやたるみがあるとつまづいて転倒するおそれがあります。</small></p>

6-4. 床当ての取付け

①床当ての六角ねじをゆるめて取り外し、床当てを支柱に図のようにはめて六角ねじで仮止めします。

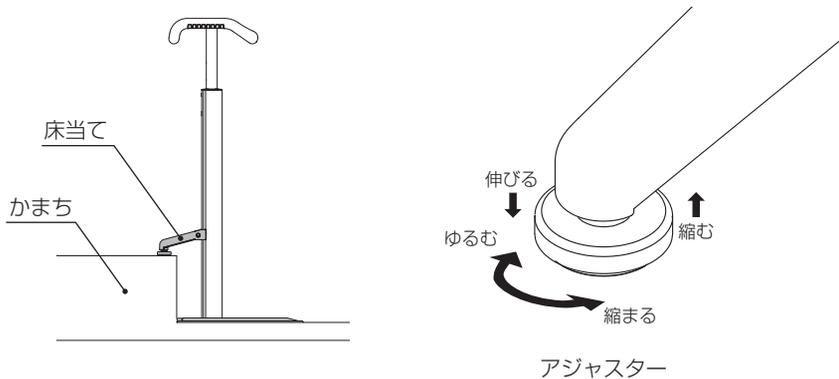


②ベース板をかまち側面に、すき間ができない様に設置してください。

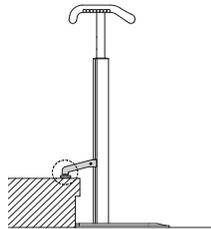
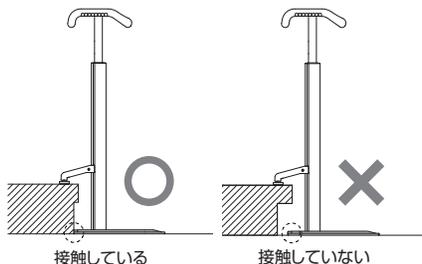
床当てのアジャスター部を、かまち上面に確実に当たった状態で位置決めし、六角ねじを締め付けてください。

締付け後、すき間やガタつきがある場合はアジャスターで調整を行ってください。

※アジャスター調整は伸ばしすぎるとベースが浮いてくるため、調整後ベースが浮いていないことを確認してください。



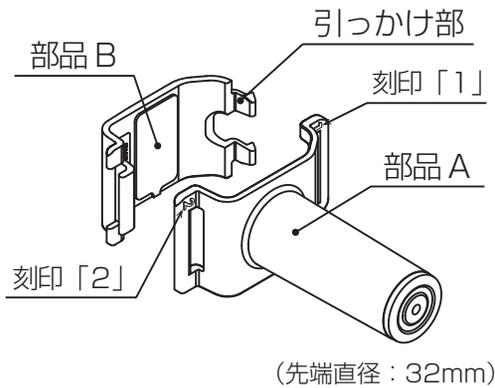
③全体にガタつきがないか確認してください

⚠ 注意	
! 必ず守る	<p>●「ベース」と「かまち」は平行に設置すること。</p> 
	<p>●「ベース」の奥側はかまち（蹴込み部）に接触させること。</p>  <p style="text-align: center;">接触している 接触していない</p>

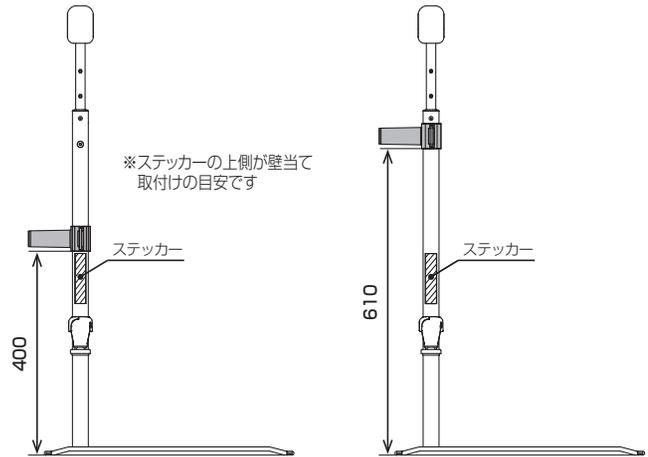
6-5. 最終確認

設置後、手すりやベースにガタつきがないか、ねじの締め忘れがないか確認してください。

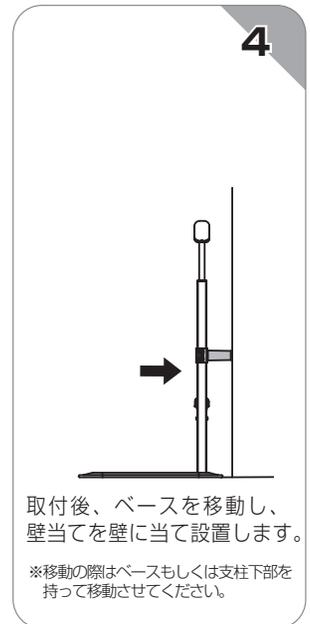
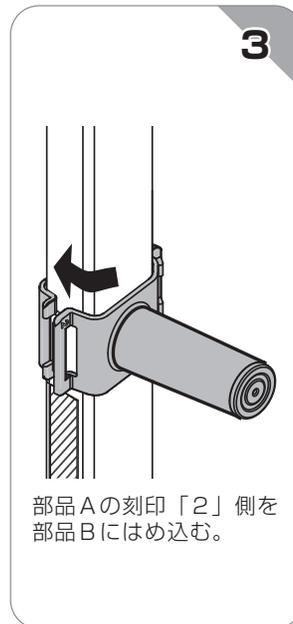
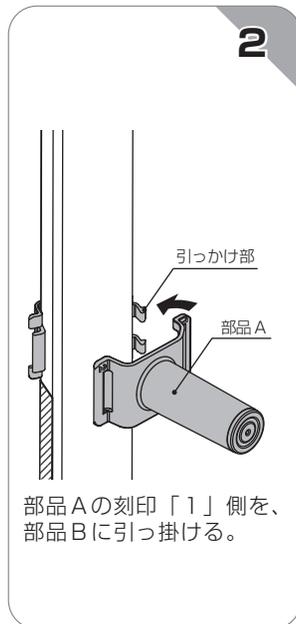
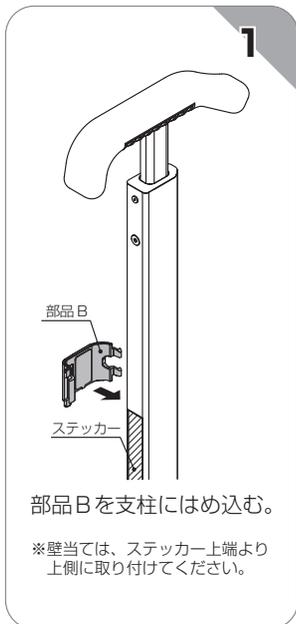
オプション部品：壁当ての取付け



壁当て (CKP-CE SET)



取付け高さ範囲 (400 ~ 610mm)



●壁面の設置について、下記の壁には取り付けできません。

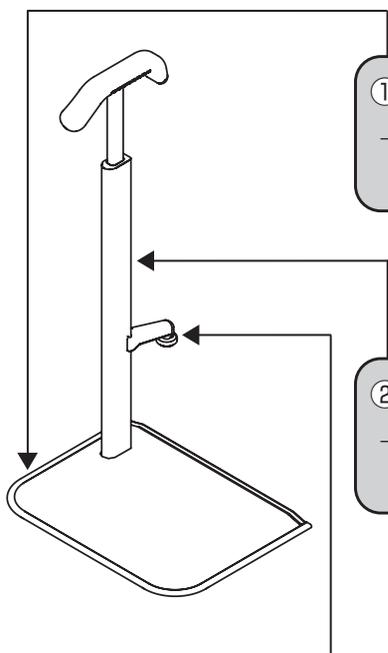
警告	
<p>禁止</p>	<p>●段差や凹凸がある壁には設置しない。 製品のズレにより転倒、ケガをするおそれがあります。</p>

注意	
<p>禁止</p>	<p>●強度のない壁には、壁当てを設置しない。 壁面が薄い場所や劣化している場所、靴箱や収納扉などへ設置すると、壁面を損傷させる可能性があります。</p>
<p>必ず守る</p>	<p>●壁との設置面には、凹みが発生したり、変色や色移りが起きる場合があるので注意する。</p> <p>●手すりを手前に引っ張るような使い方はしない 壁当ての先端が引っかかり、壁や壁紙を損傷させる可能性があります。</p>

7. ご使用前の確認

！ 設置完了後、また定期点検時に、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないか確認してください。

■ 確認チェックは下記番号順に進めてください。



① ベースに縁ゴムの外れはありませんか？

チェック✓

→縁ゴムに外れがある際は縁ゴムの再取付を行ってください。
(フィットワン メンテナンスマニュアル 参照)



② 手すりフレームにガタつきはありませんか？

チェック✓

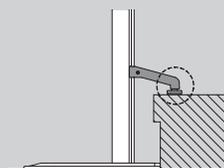
→ガタつきや異音がある場合は、ねじをしっかりと締め付けてください。



③ 床当てはかまちに接地していますか？

チェック✓

→接地していない場合はアジャスターまたは床当ての高さを調整してください。



④ オプション品「壁当て」を使用する場合
壁当ては壁に当たっていますか？

チェック✓

→当たっていない場合は、フィットワンのベース位置を調整してください。



⑤ プラスチック部品に亀裂などの破損はありませんか？

チェック✓

→亀裂などの破損があった場合は、ご使用を中止して、お買い上げの販売店、
またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

上記の確認をしても異常がある場合は、お買い上げの販売店またはレンタル事業者、ケアマネジャーにご相談ください。

8. お手入れ方法

8-1. 日常のお手入れ

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

⚠ 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● ベースやマット、手すりフレームが濡れた状態で使用しない。 滑って転倒するおそれがあります。布などで拭き取り、乾いた状態で使用してください。特にベースに敷いてあるマットは濡れると滑りやすくなり危険です。マットが濡れた場合は、マットの表面・裏面ともに布で拭いてからご使用ください。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 直射日光は避けて、陰干しする。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。必ず中性洗剤を使用してください。
	<ul style="list-style-type: none">● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	<ul style="list-style-type: none">● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。

8-2. 点検

- 定期的に点検を行い、ガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・縁ゴムの外れや破損・その他異常がないことを確認してください。

⚠ 注意	
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損・マットのめくれ・縁ゴムの外れや破損・その他異常がないことを確認する。 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へご相談ください。

8-3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設の業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などをお勧めします。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。
(参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120 倍～ 300 倍程度に希釈)

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">● オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。

8-4. 保管方法

- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管してください。

⚠ 注意	
! 必ず守る	<ul style="list-style-type: none">● 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。 高温多湿の場所で保管すると、変形、結合部の外れの原因になります。● ベースはなるべく平置きで保管する。縦置きで保管する場合は、ベースが倒れないように注意する。 重量物のため、倒れてケガをするおそれがあります。また、立てかけて保管すると縁ゴムに負荷がかかり、縁ゴムが外れやすくなる場合があります。

8-5. 長期使用について

- 経年劣化により安全上支障が生じるおそれがあることを注意喚起するために、製造年月日を表示しております。これは、使用開始時期とは異なります。
- 安全使用期間とは、本商品が適正な取扱い・維持・管理が行われて使用された場合に、安全上支障なく使用できる期間として、製造年月日から想定される期間です。これは、無償保証期間とは異なります。
- 不特定多数の方が使用される施設や病院などで使用される場合は、安全使用期間よりも劣化が早まるおそれがあります。
- 経年劣化とは、長期間にわたる使用や処置の他、雨風・湿気・温度変化・日照などによる品質の低下からくる劣化のことを言います。

⚠	想定上の安全使用期間 8年
安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化によるケガなどの事故に至るおそれがあります。	

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
kaigo-web
<https://www.kaigo-web.info/>

■ 北海道支店 福祉介護課
〒072-0007 北海道美瑛市東6条北8-2-1
TEL 0126(63)4285

■ 仙台支店 福祉介護課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145

■ 関東支店 福祉介護課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)4562

■ 東京支店 福祉介護課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113

■ 神奈川支店 福祉介護課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古木 3-4
TEL 0463(81)4315

■ 名古屋支店 福祉介護課
〒484-0963 愛知県犬山市宇鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111

■ 大阪支店 福祉介護課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440

■ 広島支店 福祉介護課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111

■ 九州支店 福祉介護課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310

26032603

DW-338-00